



フロントは10.5J、リアは11.5Jもの極大サイズをセット。レーシングなステップリムをこの車両では使用している。正面から見るとスポークの繊細さが際立つが、厚みを持たせ強度や剛性を確保。ディスクカラーはグリミットブラックで、ブラックアルミマイトリムとのコンビ。なおオプションのセンターキャップも装着。



カラー：グリミットブラック / チタンブロンズ / ブラック / アズールホワイト



Weld が間もなく発売を開始する、オリジナルのボディキット。フロントリップと前後のオーバーフェンダーの3点がセットとなっており、ノーマルよりもフロントは50mm、リアは70mmワイド。今後は足回りやマフラーのリリースも計画中とのことで待ち遠しい。フォーミュラードリフトなどに参戦するショップが生み出すパーツだけに、否応なしに期待が高まる。



究極のスタイルを実現できるそれがマルチピースの魅力!

オーバーフェンダーを追加したワイルドなスタイルに憧れるけれど、タイヤ&ホイールサイズがネック。またア×車の場合はPCDも特殊だが、そんな悩みをすべて解決できるのがWORKの魅力。

PHOTO: 浅井岳男 ■TEXT: 空野隆

国産車から輸入車まで、オールジャンルのカスタムを手掛けるWeld。オリジナルのワイドボディキットで非常にアグレッシブなスタイリングを実現しているが、サスペンションはエアサスではなくJICの車高調を装着。目指したのは「普通に街乗りができる最大限の低さを追求すること」で、Weldらしくただ魅せるだけでなく走りも追求した仕様と言えるだろう。

ちなみにベース車両はUS仕様で、日本国内で正規販売されていない3.6ℓV6を搭載。Weld代表の伊藤氏によると「V8では持て余すし、2.0ℓターボはちょっと物足

りない。その両者の長所を組み合わせた様なエンジンですね」と語る。

そんな伊藤氏は、創業当初からデモカーの足もとにWORKを選び続けている。その理由を伺うと「個人的にWORKのデザインセンスが好きですね。スポーティな雰囲気を出しつつも、どこかに色気も感じさせてくれる。軽さや耐久性などはもちろん大切ですが、それだけでなくユーザーが「履きたい!」と思わせる様なフォルムが魅力的です。今回装着したWORK EMOTION ZR10 2Pは10本のシャープなスポークが軽快感を主張し、2ピース構造を採用して

いるためミリ単位でインセットを設定することが可能です。このカマロにはWeldオリジナルのオーバーフェンダーをセットしていますが、ここまでハードなカスタマイズを施してもジャストサイズのリムを装着できるのが最大の魅力です。またカラーバリエーションも豊富なので、どんな仕様にもマッチさせやすい」とも。

どんなに素晴らしいパーツを組み合わせても、トータルの美しさが決まらなければ台無しになってしまう。ある意味、究極のスタイリングを実現できるのが、WORK EMOTION ZR10 2P と言えるだろう。

WORK EMOTION ZR10 2P

CHEVROLET CAMARO WIDEBODY

Weld Techniques Factory Co.,Ltd.



株式会社ワーク

所在地★〒577-0016 大阪府東大阪市長田西4-1-13
TEL★06-6746-2859 (西日本コールセンター)
TEL★052-777-4512 (中日本コールセンター)
TEL★048-688-7555 (東日本コールセンター)
URL★<https://www.work-wheels.co.jp>



有限会社ウエルド

所在地★〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早瀬1-31-18
TEL★045-595-0865
URL★<https://www.weld-jp.com/>



カラー：マットシルバー / コンポジットパフブラッシュド / パフフィニッシュ / マットブラック / ブラッシュド



コンケイブ形状やスポークのひねりが妖艶な雰囲気を演出する。フロントは10J、リアは11Jでディスクカラーはオプションのブラック。これにブラックアルマイトリムを組み合わせ、ピասポルトやエアバルブもブラックをセット。まさに統一感と言う言葉が最適。



前後バンパーやリアウイング、サイドスカートは社外エアロを装着。ダウン量は35mmとし、スタイルと実用性のバランスにも配慮。マフラーはMBRPに変更しており、独特なV8サウンドを、より一層体感できる仕様となっている。



国内外を問わず、様々なジャンルのクルマをカスタムし続ける、DefLexs AUTO CUSTOM DESIGN。これまで様々なクルマを手掛けてきたが、意外にもアメ車をメイクしたことはなかったとか。そこで、スタイリングのカッコ良さからカマロをチョイス。今までにない新たなカスタムを探求するために製作したのが、このデモカーという訳だ。

サスペンションはD2 JAPANの車高調に変更し、ノーマルよりも約35mmのロウリングを実施。エアロパーツは社外エアロをチョイスしてスポーティな雰囲気をより一

層強調している。一般的に走りを意識したスタイルの場合、どうしても強度を優先し、1ピースを選びがちだ。

だが、せっかくカスタムするのなら、自分だけの「ONLY ONE」を目指したいもの。そこでDefLexsでは、WORKのGNOSIS CVSをチョイス。このGNOSIS CVSの最大の特徴は、コンケイブ形状が生み出す優美さと、「ひねり」と呼ばれる独創的なスポーク形状にある。一般的なスポークデザインのホイールは直線的な形状であるが、このCVSはセンターハブを中心にディスク面が回転するかの様なデザインを採用してい

ることで、スポーティ派はもちろん、ドレスアップ性を重視したい人の理想を叶えてくれる。しかも2ピース構造を採用するので、インセットの選択肢は非常に多く、その上リム/ディスク/ピասポルトの色を自由に組み合わせることが可能なので、世界に1セットだけの、自分だけの仕様を創り出すことも決して不可能ではない。

装着できるサイズをただ組み合わせるのではなく、自分の装着したいジャストサイズが選べる。これこそが真のカスタマイズであり、誰もが思い描くその願望をWORKなら具現化できると断言しよう。

エレガンスとスポーティの融合 2ピースの高い自由度も魅力的

カスタムの第一歩にして、もっとも重要な存在となるのがタイヤ&ホイール。目指すスタイルが異なる様に求める内容も人それぞれだが、ほかの人とカブリたくないなら、2ピースの自由度の高さに着目すべきだ。

■ PHOTO: 浅井岳男 ■ TEXT: 空野陵



株式会社ワーク 所在地★〒577-0016 大阪府東大阪市長田南4-1-13
TEL★06-5746-2839 (西日本コールセンター)
TEL★052-777-0518 (東日本コールセンター)
TEL★043-688-7655 (中国・台湾・韓国)
URL★<http://www.work-wheels.com>

株式会社デフレックス 所在地★〒194-0003 東京都町田市川口1-35-213
TEL★042-703-8777

WORK GNOSIS CVS CHEVROLET CAMARO SS DefLexs AUTO CUSTOM DESIGN